



- 1 製造機械の点検作業をする従業員
- 2 国産のほとんどのアイスクリームやかき氷に同社は関わっているのだそう
- 3 会社の今後を語る小森社長、意外にも甘いものは苦手だとか
- 4 職場の明るい雰囲気が伝わる従業員のみなさんと小森社長

造

かわちながの ものづくり探訪

Made in Kawachinagano

15

作

アイスクリーム 製造機械のトップ企業

大東食品機械株式会社

本市松ヶ丘東町にあるアイスクリームプラントメーカー大東食品機械株式会社。今年で創業52周年を迎える同社は国産アイスクリームの製作を手がけ、アイスクリームの5割以上、かき氷は9割以上という国内ナンバーワンの生産実績を誇っています。

現在の代表取締役社長小森靖司しやうせいさんは2代目で、元々は父親の修正しゆせいさんが淡路島の食品機械メーカーを退職し、昭和40年に現在の地で事業を興したのが会社の始まり。その後、昭和45年に同社が

世界に先駆けて開発した「かき氷製造機」が大ヒットしたこと、ほとんどの国内主要メーカーと取引することに。同社の従業員は16人という少人数ながら、およそ年間20基のプラントを生産、これまでに製作した機械は約1000基にのびります。

「今ではタッチパネルの操作だけで、アイスクリームを大量に生産できる機械を製造しています」と小森社長は胸をはります。同社の製造機械を通して作られたアイスクリームやアイスクリームなどは、誰もが一度は口にしたことがあるおなじみの商品名が並びます。

このように多くのアイスクリームやかき氷の製造機械に関わるようになった同社。小森社長に会社発展の要因を尋ねると「顧客である食品メーカーの要望にこたえるため、難しいことであってもメーカーとともに試行錯誤を繰り返して、問題解決や新規



大東食品機械株式会社

昭和40年創立。アイスクリームとかき氷の製造設備の開発から製造・販売までを一貫して行う同社は業界トップのメーカー。松ヶ丘東町 1348-6 ☎ 53-5768 <http://www.daitofm.co.jp/index.html>

商品の開発を進めてきたことで「との答えが。例えば同社の従業員が直接メーカーの各工場を訪れ、現場の担当者や密に話をすることで、問題点や課題を洗い出し、一緒に悩み、考え、そして解決していくといえます。

「これも小さい会社だからこそできるのです」と語る小森社長。「これからも会社を大きくすることよりも、技術力を磨き、より一層お客様に信頼される会社を目指したい」という言葉にはトップ企業としての自信と力強さを感じられました。



▲タッチパネル式全自動アイスクリームフリーザー。1時間に2～3万個分のアイスクリームが製造できる